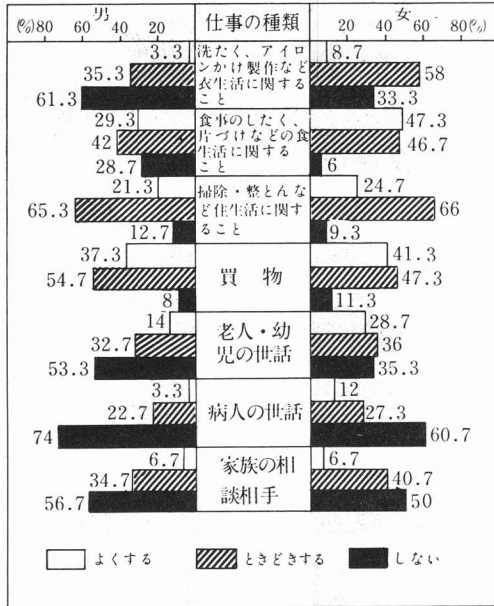


(3) 家庭の役割

1) 家庭でどの程度仕事をしているか。

表9：仕事の種類とする・しないの程度



よくする、ときどきするをまとめると男子では約58%、女子では約70%の児童が家庭の仕事をしている。

男子では「買物」や「掃除・整とんなど」を分担している比率が高く、女子では「食生活」や「衣生活」に関する仕事を分担している比率が高い。「老・幼・病人の世話」が低いとその理由に、その他で該当者がいないをあげている。

2) 衣生活について

表10：洗たく、アイロンかけ、製作などの仕事をする・しないの程度

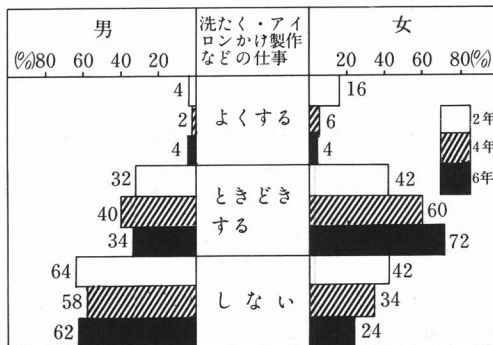
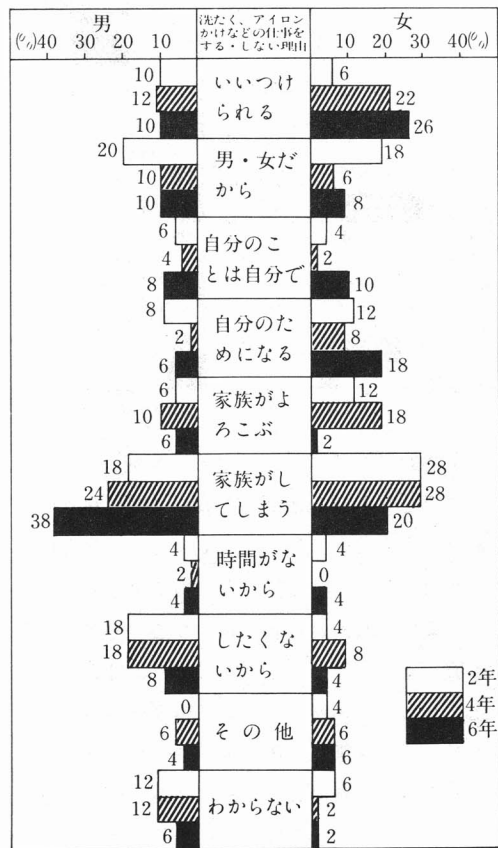


表10は、衣生活に関することとする・しないの程度を見たものであるが「する」が全体では約53%を占めている。

男女別で見ると女子では「する」が約67%で高いが男子では約39%と低くなっている。

「する」の場合、学年別では、男子はあまり差は見られない。女子では、学年進級とともに多くなっている。

表11：洗たく、アイロンかけなどの衣生活に関する仕事をする・しないの理由



衣生活に関する仕事をする理由では、「いいつけられる」が最も多く、特に女子では学年進級とともに多くなっている。しない理由では、「家族がしてしまう」が最多である。全体的な性差では、「いいつけられる」「自分のためになる」が女子に多く、「家族がしてしまう」「したくない」が男子に多く見られる。